

小呂野通信

令和5年7月号 (第37号)

発行日 2023.7.27(木)

〒041-0806

函館市美原5丁目31番10号



(2023.5.31(水)NPO 法人小呂野 第13回通常総会の様子)

暑中お見舞い申し上げます

暑い日が続いていますが、みなさんお変わりなくお過ごしでしょうか。

記録的な大雨による日本各地の被害状況。新型コロナウイルスとインフルエンザの同時流行といったニュースに耳を傾け、この原稿を書いています。ロシア軍によるウクライナ侵攻では、激しい戦闘が続いており、今こうして、パソコンに向かうことができる環境は、当たり前存在するものではないことに、改めて気づかされている次第です。

法人のホームページなどでもお伝え済みではありますが、去る5月31日、亀田交流プラザにて、13回目となるNPO 法人小呂野通常総会を開催しました。

今年度も小呂野は、先駆的に取り組んできた法人後見業務や、司法福祉連携、昨年度新たに取り組みを始めたスクールソーシャルワークなど、社会の要請に応じた取り組みを継続しながら、権利擁護を担う取り組みに幅を持たせ、自己研鑽にも努めてまいります。



(ウッドデッキのバラです!)

このように、小呂野の歴史を積み重ねることができるのは、私たちだけのチカラでは到底、実現しえませんが、

“がんばってね!” “応援してるよ!” “少しでもチカラになれば…”とみなさんからいただくメッセージと力強いサポートに、小呂野は支えられています。これからも共に、「よりよく生きること」の実現に向け、活動を重ねていきましょう。会費や寄付金、あたたかいメッセージ、ありがとうございます。

引き続きよろしく願い申し上げます。

NPO 法人小呂野 スタッフ一同

前回通信発行(R5.5月中旬)

以降の活動

- ・毎週月曜日 教育大学(基盤と専門職Ⅰ)
- ・毎週火曜日 教育大学(相談援助演習Ⅲ)
教育大学(医療福祉論)
- ・毎週水曜日 函館高専 SSW
- ・毎週金曜日 教育大学
(権利擁護と成年後見制度)
- ・4/27 調停
- ・5/12 調停
- ・5/15 後見事例検討会 ZOOM
- ・5/19 NPO 法人小呂野理事会
- ・5/24 北海道社会福祉士会
道南地区支部役員会
- ・5/26 処遇会議
- ・5/31 NPO 法人小呂野
第13回通常総会
- ・6/9 北海道社会福祉士会
道南地区支部全体会
定例学習会
- ・6/12 司法と福祉の連携勉強会
- ・6/22 調停
- ・6/24 北海道社会福祉士会
定時総会
- ・7/4 函館市家庭生活カレッジ 研修
老人問題(高齢者福祉)
- ・7/7 函館家庭裁判所研修会
意思決定支援について 講師
- ・7/11 函館市家庭生活カレッジ 研修
老人問題(高齢者福祉)
- ・7/13 日本福祉大学ブロック座談会
- ・7/18 函館市家庭生活カレッジ 研修
老人問題(高齢者福祉)
- ・7/22 基礎研修Ⅲ 実践研究
- ・7/23 基礎研修Ⅲ ソーシャルワーク実践

東西南北駆け回り、日々ひたむきに…
福祉実践にチカラを注いでいます。

いよいよ夏本番。こまめな水分補給で、
脱水等に気を付けながら、力を合わせて
頑張ります！

再開

コロナウイルス感染症等の対応で、逼迫した現場で奮闘
されている方々も多くいらっしゃると思います。収束
を願いつつご自愛をお祈り致します。

少し前より、私たちがお手伝いさせていただいている被
後見人等の方々が生活されている施設等からは、制限が緩
和され、条件つきですが、対面面会が可能となった旨のお
知らせが、徐々に届いています。

コミュニケーションをとることが、一筋縄にはいかない
ことも多いですが、「ついにこの日がやってきた！」とい
う気持ちで過ごしています。

ウイルスの感染力が変わるわけではなく、それぞれの環
境の中で安全を守ることは、今後も必要不可欠です。

『感染しない、させない』ための基本的な感染予防対策
を継続しながら、長らく顔を合わせることができていな
い、被後見人等のみなさんに会える日を、心待ちにしてい
ます！



7
月中旬
← 市民の森にて
撮影
前川

みのり

努力や手間をかけて成果が上がること。
良い報いがあることなど、めざした地
点から紆余曲折を経て結果に結びつい
たときに「みのる」という表現を用い
ることがあります。

あの日あの時の経験が、いまの自分
の中に息づいているなど感じるることがあり
ます。果実のみのりのように、人の中に
みのっているものは、見えるものではあ
りませんが、苦い経験も、恥ずかしい体
験も、自分を強く、たくましくしてくれ
ているのだろうと感じるこのごろです。

これからも、互いに切磋琢磨し、自己
研鑽に繋がるような環境づくりを意識し、
経験を積んでいきたいです。



P 駐車場

小呂野の専用駐車場が完成して久しいですが、現在、事務所玄関付近に取り付ける“案内看板を作成中です。駐車場には、スタッフそれぞれが選んだ植物を植え、たのしみながらみんなで作り上げているところです。駐車場に設置した看板は、隣町の家具職人さんに製作いただきました。

看板の素材は“ハルニレ”の木。時間の経過とともに、味が出てくるとのこと。わくわくです！

事務所の専用駐車場はこちらです



NPO まつりに参加します

8月20日(日)10時から14時まで、函館市地域交流まちづくりセンターにて行われる第19回 NPO まつりに参加します。開催は4年ぶり。団体同士の交流のほかに、市民と団体が関わり合い、新しい仲間を見つける場でもあります。これから、展示用ポスターの作成に取り掛かるところです。小呂野は小さな本屋をテーマに参加予定です。

ご都合よろしければ、ぜひお立ち寄りください！



※とある日、スタッフ前川が自宅で育てているラベンダーをスティックにして、事務所に持ってきてくれました。今回のおまつりで、皆さんにお渡しできたら…と計画していましたが、時期を逃し、あえなく断念。

来年は花が開ききる前に、事務所のラベンダーを摘んで作ってみたいと思います。本を購入いただいた方への特典を、現在作成中です！



新しい街の小さな発見

本年4月から小呂野のスタッフとして働き始め、6月には函館新道の赤川インター近くの美原4丁目に引っ越してきました。新しい住まいは、事務所のある美原5丁目まで、徒歩10分程度の場所にあるアパートで、毎朝、美原の住宅街をてくてく歩いて通勤する日々となっています。

一番の発見は、自宅を出発して5分位歩いたところに無農薬野菜を販売するお宅があったことです。ピーツ、ブロッコリー、ズッキーニなど5、6種類の野菜が並んでいて、無人販売方式のため小銭をカンカンに入れて買えます。引っ越し後間もなく、朝の通勤の時、そのお宅のおじさんが野菜を洗ったりして準備していたので、「ブロッコリーを取り置きしてもらい、帰りに寄っていいですか?」とお願いしたら、「わかったよ、冷蔵庫で保管しておくから自宅に寄ってね!」と快諾してもらいました。

以来、朝の挨拶に始まり、いろいろ会話もするようになり、すっかり顔なじみとなり、親戚のおじさんが一人増えた感じです。野菜は赤川水源地近くの畑で栽培しているそうで、そのうち、自分の食べたい野菜を栽培してもらえないかと企んでいる今日この頃です。 @み〜う〜



しまちゃんのひとりごと

びっくりな暑さがつづいてますね。わたしは事務所ウッドデッキや、お気に入りの窓の下に置いてもらっている特等席!に座って、みんなの様子を見ています。

せつせと外に出て行ったり、事務所の中を動き回って、なんだかパタパタ、毎日パタパタ。

だけど、大変大変!で片付けられない性分のように、課題をみんなまで話し合ったり、勉強会を開いたり、充実の様子も伝わってきます。わたしも法人スタッフとして、全力でお客さんをお迎えしています。

水分補給をしっかりと、暑い夏を乗り切りましょうね!



編集後記

夏本番となりましたが、小呂野は皆さんの応援をパワーに変え、充実した法人活動を継続させていただいています。次号より「よりよく生きること」を支援する人インタビューも再開したいと考えています。また、来所いただいた方々から、カフェスペースを褒めていただく機会も多く、カフェ再開も目標にしています。

今後も、スタッフ一同、貪欲に学びつつ、興味関心を伸ばせる組織であり続けられるよう、「よりよく生きること」の実現に向け活動していきます!



〒041-0806 函館市美原5丁目31番10号

TEL 0138-83-8471

FAX 0138-83-8472

MAIL simasakura1@gmail.com

特定非営利活動法人 小呂野

ゆあさ社会福祉士事務所

湯浅 弥

湯浅 留美

高橋 鑑一

小西 真帆

前川 智也

藤山けやき

宇美 隆浩

湯浅 しま



しまちゃんのプログ